

永年の功績に深く敬意を表します

平成14年度

大館市功労者

大館市功労者表彰は、社会福祉の増進、教育・文化の発展、産業の振興、保健衛生・納税貯蓄の向上など、市政に対して大きな功績があった個人や団体に対して行われます。毎年四月一日（市の記念日）に表彰式が行われ、今年度は次の五人のかたに決まりました。



せき き いち
関 喜一氏

（沢 山・72歳）

昭和40年から平成13年までの36年間、大館市行政協力員として地域の意見を汲み上げ、市民と行政の橋渡し役をなさいました。

また、昭和39年から平成13年までの37年間、地区納税貯蓄組合長として、市税などの収納率の向上に尽くされました。



こんどう た じ ろ う
近藤 多治郎氏

（栄 町・85歳）

長木川にハクチョウが飛来し始めた昭和50年代初頭から、餌の補給や川面の氷を取り除く作業を行うなど、長年にわたりボランティアで環境作りに努められました。そして白鳥広場を市街地でハクチョウを観察できる、全国でも珍しい名勝地として定着させました。



やまうち や え
山内 ヤエイ氏

（大茂内・76歳）

昭和30年から現在まで47年間保健婦として保健衛生、公衆衛生の分野で活躍されました。特に地域のボランティアグループ「諏訪会」において、平成5年から会長を務められ、豊富な経験を生かした老人保健、少年の健全育成に力を注がれました。



と が し ひろ のぶ
富樫 廣信氏

（板 沢・70歳）

昭和44年から62年まで18年間、大館市農業委員として地域農業の生産力発展、経営合理化、農地の有効利用などに尽力され、農家の地位向上に著しく貢献されました。

また、防災・福祉などに精力的な活動を展開され、住民福祉実現に大きな足跡を残されました。



た む ら し げ か つ
田村 茂勝氏

（沢 尻・73歳）

昭和46年から30年以上にわたって、山田記念ロードレース大会の役員として運営に携わり、競技会を支え、その発展に努力されました。

また、大館市陸上競技協会会長などを歴任し、体育・スポーツの振興全般に尽くされました。